

副専攻名 文化人類学					
副専攻のCP(カリキュラム編成方針)					
世界にはさまざまな生活様式、社会、文化をもつ人間集団が存在する。副専攻文化人類学では、これら異文化について学ぶことを通して、文化の多様性を理解するとともに、当たり前となりがちな自文化を新たな視点から見なおす。					
副専攻の学習成果					
・世界に存在するさまざまな生活様式、社会、文化をもつ人間集団について知る。 ・異文化を理解するための方法論を身につける。 ・文化の多様性とその理解について必要な方法論を学ぶ。 ・異文化の理解を通して、自分の文化について、よりよい理解をもつ。					
副専攻を構成する科目					
科目番号	授業科目名	学生の学習目標	学年	前期	後期
41402	文化人類学概説	文化人類学の基本的な考え方やものの見方を学び、異文化・異社会を理解する基礎力を身につける。	2		2
10003	文化概説	現代においてさまざまな意味で使われている「文化」という概念を、その意味の歴史的形成や変遷を追いながら検討し、どういう領域でどのような意味合いで用いられ、そのことがどのような結果を生み出すのかを考える。	1		2
10002	現代日本の文化と社会	戦後日本のたどった経緯と、政治、経済、家族・社会関係、宗教などの観点から概括して、ポスト戦後社会といわれる現代の日本をつくりだすものになった要因を分析し、現在見られる文化や社会のあり方を考えるための基礎知識を得る。	2	2	
41411	地域文化論	文化人類学の視点から見た地域文化のあり方を、具体的事例検討を通じて把握する。	2～4	2	
41413	比較民族誌	東南アジアの、民族状況や民族の生活を学ぶことを通して、異文化理解の力を身につける。	2～4	2	
35220	地域コミュニティ論	東南アジアの、民族状況や民族の生活を学ぶことを通して、異文化理解の力を身につける。	2	2	
51211	東南アジア研究	東南アジアの、民族状況や民族の生活を学ぶことを通して、異文化理解の力を身につける。	2～4	2	
41414	社会動態論	東南アジア少数民族ラフを例に取り、民族、生態環境、近代国家、焼畑、宗教、神話、識字、アイデンティティなどの一般的な問題を理解できるようにする。	2～4	2	
41412	文化人類学講義	「伝統」および「現代」に関して、世界中の具体的な事例をとりあげながら、その概念および実態を学ぶ。	2～4	2	
41444	文化人類学実習A	ミクロな地域社会での生活を、社会、経済、家族関係、信仰などの観点から総合的に把握する方法を身につける。	3～4	2	
41445	文化人類学実習B	現地調査の観察・聞き取り資料や文献・統計資料をもとに、随時補充調査をおこないながら、データを整理・分析し、調査報告書の形に纏めてゆく方法を学ぶ。	3～4		2
41433	文化人類学演習A	特に英語で書かれたモノグラフを読むことを通して、文化人類学の報告書の読み方を学び、人類的なもの見方の基礎を身につける。	2～4	2	
41434	文化人類学演習B	文化人類学および日本民俗学分野の日本語の論文を読み、内容を正確に理解するとともに、人類的なもの見方を身につける。	2～4		2
41431	地域文化論演習A	地域文化に関する民族誌や研究書を読むことで、地域文化が住民のつくる社会、制度、慣習、またその主要な生業や宗教信仰など多様な要素から構成されていることを知る。	2～4	2	
41432	地域文化論演習B	事例研究を通して、文化を生かした地域社会のあり方やその生かし方を考えることができるようにする。	2～4		2
35233	地域文化論演習	地域文化に関する民族誌や研究書を読むことで、地域文化が住民のつくる社会、制度、慣習、またその主要な生業や宗教信仰など多様なものから構成されていることを理解する。	2～4		2